

# 当たりやすさが同じくじびきをつくろう 視点5

## 1. 単元名 割合 (5年生 12月)

## 2. 改善の動機・意図

本教材は割合の概念をより分かりやすくするために設定した。教科書ではシュートの入りやすさから割合を考えていく活動を行っているが、シュート率は再現性がなく、数の操作も設定しづらい。そこで単元の導入では、**あたりの多く入ったくじ引き**を提示する。同じ当たりやすさをAとBの考えをもとに解釈していく。そこで、当たりやすさを考えるときには**差ではなく割合で考えなければならぬ**ことに気づかせたい。また、割合をコンピューターの図を使って視覚化することで、全体の量を1とみることに着目させていきたい。

## 3. 授業の構想

- T1 当たりやすいくじ引きを作ったよ。引いてみよう。
- C1 ほんとだあたりがたくさん出たよ。中身はどうなっているのだろう。
- T2 全部で10こ、あたりが8こ入っているよ。(黒板のチョークを置く枠に並べると見やすい)

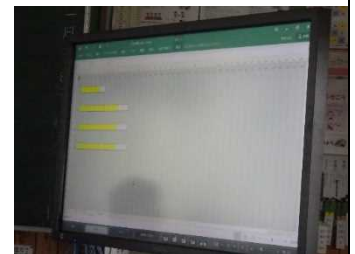


### <同じ当たりやすさのくじってどなんくじ>

AとBの考えを提示



- T3 二人はどんな考え方をしているのかな。(違いは?)
- C2 Aは10ずつ数を増やしているよ。
- C3 Aははずれの数はずっと2だね。(あたりの数は増えるのにおかしいな。)
- C4 Bは同じ倍ずつ数を変えているよ。
- C5 分数で考えると、8/10も16/20もどちらも約分すると4/5になるね。
- T4 Bの考えで変わらないものって何だろう。
- C5 4/5? これって何だろう。当たりやすさなのかな。
- T5 数字だけで考えてわかりづらいときは何で考えたらいいかな。
- C6 図を使って考えると考えやすそうだよ。
- C7 図で考えると全体のうちのどれだけがあたりなのかが同じになったよ。
- T6 全体を1と考えると、当たりやすさはどれくらい。
- C8 0.8くらい。4/5も0.8だね。
- C9 Bはどこを見ても当たりやすさが0.8になっているね。



全体を1と見たときにあたりのくじの割合がいつも同じになっているくじが当たりやすさが同じくじ。Bはあたりの割合がいつも0.8になっている。